

国立大学法人東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所教員募集要項（文化人類学）
2026-03-24

1. 採用予定者

准教授 1名

2. 所属

アジア・アフリカ言語文化研究所

3. 勤務場所

（雇入れ直後）東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学府中キャンパス
（変更の範囲）変更無し

4. 職務内容

（雇入れ直後）

- (1) （日本を除く）アジア・アフリカに関する研究
 - (2) 研究所および大学の運営に関する業務
 - (3) 大学院の授業科目担当および大学院生の研究指導
- （変更の範囲）

変更無し

5. 任期

任期の定めのない定年制

6. 専門分野

文化人類学

7. 応募資格

- (1) 応募者は、アジア・アフリカにおける十分な臨地調査の経験に基づく優れた人類学の業績があり、学際的共同研究ないし国際的共同研究の実績のある研究者であること。
- (2) 応募者は、博士の学位を有する者、または、採用予定日までに取得見込みの者とする。
- (3) 応募者は、研究遂行上、アジア・アフリカ地域と緊密な接点を保持していることを条件とする。
- (4) 応募者は、本研究所が重点を置く研究活動および諸事業を担い、かつその発展に寄与す

ることができる者とする。

(5) 応募者は、本研究所の共同利用・共同研究課題を積極的に推進し得る者とする。

※ 同時期に本研究所で募集している中東・アフリカの地域研究ないし近現代史研究分野の教員公募および文化人類学分野の教員〔助教〕公募との重複応募も認める。その場合、書類はそれぞれ別に用意し、提出すること。

8. 採用予定年月日

2027年4月1日

なお、相当の理由があれば、着任時期について考慮することがある。

9. 勤務条件等

(1) 給与

年俸制（年俸額は職務経験や業績等に基づき決定し、年俸額を12月で割った額を毎月支給）。税金及び社会保険料（雇用保険料、共済組合掛金）の自己負担分を控除する。

(2) 勤務形態

専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）

(3) 休日・休暇

国立大学法人東京外国語大学職員勤務時間、休暇等に関する規程による。

休日：原則として、土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）。

ただし、業務の都合上、上記休日を勤務日として勤務することがある。

休暇：年次有給休暇、病気休暇、特別休暇

(4) 社会保険

文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入する。

(5) 試用期間

あり（6か月）

(6) 退職手当

支給あり

(7) その他の就業条件については、国立大学法人東京外国語大学の規則及び関連規定に従う。

10-1. 提出書類①

(1)～(7)までのすべてをPDF形式で提出すること。各ファイル名に応募者の氏名を含めること。

(1) 履歴書 1通

- 市販の横書き用紙（もしくは、それに準ずるもの）を使用し、顔写真を添付する。
- 1 ページ目の左上に「文化人類学〔准教授〕」と明記する。
- 住所のほかメールアドレスを明記する。
- 学歴の末尾に、研究において使用できる言語を記載する。

(2) 博士学位記の写し、もしくは、博士学位請求論文を提出し受理されていることを証明する文書の写し 1通

(3) 研究経歴 1通

- 用紙サイズ A4 判、横書き 日本語 4000 字以内または英語 1600 語以内。
- 学際的共同研究ないし国際的共同研究の実績について明記すること。また、これまでに交流を持ってきたアジア・アフリカにおける研究機関、およびアジア・アフリカを研究対象とする研究機関があれば、それに言及すること。本研究所の共同研究に参加した経験がある場合は、それに言及すること。

(4) 研究計画書 1通

- 用紙サイズ A4 判、横書き 日本語 4000 字以内または英語 1600 語以内。
- 次の2点についても必ず記載すること。
 - (i) 共同利用・共同研究の国際的拠点である本研究所で他分野の研究者と協働しつつどのような共同研究を組織するか。
 - (ii) 本研究所の基幹研究「社会性の人類的探究：トランスカルチャー状況と寛容／不寛容の機序」においてどのような研究活動を行うか。

なお、本研究所の共同研究等については研究所ウェブサイト

<https://www.aa.tufs.ac.jp/> を、基幹研究「社会性の人類的探究：トランスカルチャー状況と寛容／不寛容の機序」については、<https://anthropology.aa-ken.jp/> を参照のこと。

(5) 業績一覧表 1通

(6) 主要業績3点の要旨 1通

- 下記10-2の主要業績3点について、それぞれ日本語 600 字以内あるいは英語 240 語以内で要旨を記載する。

(7) 参考意見を聞くことのできる研究者2名の氏名・所属・連絡先一覧 1通

10-2. 提出書類② 主要業績 3点

すべてPDF形式で提出すること。各ファイル名に応募者の氏名を含めること。

11. 選考方法

第1次審査として書類選考を行い、第1次審査合格者を対象として面接による第2次審査を行う。

面接は2026年7月18日(土)を予定。面接対象者には2026年7月上旬までに電子メールにて連絡する。

第2次審査に合格した採用候補者に対しては、2026年10月下旬頃に本学役員による面接を原則対面形式で実施する。

採用候補者には2026年9月下旬までに電子メールにて連絡する。

(第2次審査を含めて、面接の際の交通費は支給しない)

12. 選考結果通知

2026年11月上旬(予定)

通知は電子メールにて行う。

13. 提出方法・応募締切

応募締切：**2026年5月21日(木)**までに、以下の(1)及び(2)を完了してください。

提出書類は、それぞれPDF化したあと、1つのフォルダにまとめ、ZIPファイルにしてアップロードしてください。

(1) ILCAA 教員採用応募フォームへのご登録及び提出書類①のアップロード

ILCAA 教員採用応募フォーム (文化人類学 [准教授])

<https://sanda.tufs.ac.jp/kenkyu/recruitment-aal/j/>

(2) 業績3点(提出書類②)のアップロード

ILCAA 教員採用応募フォーム入力後に届く登録確認メールに記載されているURLのオンラインストレージにアップロードしてください。

(3) 応募完了のメール通知

上記(1)及び(2)のアップロード完了後、本研究所から応募者宛に確認のメールを送付します。

アップロード完了後、1週間（土日祝日を除く）以内にメールが届かない場合には、下記14のメールアドレス宛に連絡してください。

14. 本募集に関する問合せ先

jinji-aa@tufs.ac.jp

- 質問については、必ず電子メールでお願いします。
- メール不着の事例がありますので、問い合わせ後3日（土日祝日を除く）以内にこちらからの返信がない場合は、再度電子メールにてお問い合わせください。
- 電話によるお問い合わせには、お答えできません。

15. その他

- (1) 本公募に関連して提出された個人情報については、本学の規程に従って適切に管理し、選考の目的以外には使用しません。
- (2) 本学では男女共同参画を推進しております。
- (3) 受動喫煙を防止するための措置：敷地内禁煙（屋外喫煙場所あり）